

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[LOGDATA エラー メッセージ](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、チャンネル インターフェイス プロセッサ (CIP) ルータまたはチャンネル ポート アダプタ (ECPA) ルータの LOGDATA エラー メッセージの原因について説明します。また、この状況に対処するための手順についても説明します。

ケースの大半では、LOGDATA ハードウェア上の問題、とりわけケーブル、Enterprise System Connection (ESCON) デイレクター、またはコネクタが原因です。多くの場合、問題は光カードをきれいにし、ケーブルはきちんとつくようにすれば解決することができます。

注この資料が主に CIP を示すが、エラーおよびトラブルシューティングの方法は ECPA カードと同様に適用します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は ESCON 接続されたメインフレームとの ESCON CIP か ECPA に基づいています。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

LOGDATA エラー メッセージ

次のコード例で示される形式が CIP ルータ コンソールログインに LOGDATA 現れます。それらはアドレスから 0000 始まり、アドレス 0D80 で終了します。

全体のログは %ADAPTER-6-LOGOUT から、キャプチャする必要があります: %ADAPTER-6-LOGDATA への 0 : 0D80 行。従って、それはことすべての CIP および ECPA ルータの少なくとも 80000 への設定された logging buffered 推奨されます。

トラブルシューティング

LOGDATA ESCONチャネル接続だけで表示されます。ほとんどの場合、LOGDATAある種にはリンクの伝送エラーまたはプロトコルエラーがあったことを示します。このエラー状態を解決するために、少数の質問は答える必要があります:

- このエラーによって処理が停止したか？
- このエラーが発生したのは初めてか？
- 物理層にあらゆる変更が、たとえばケーブル、ESCON ディレクター、等ありましたか。

このエラー状態により停止を引き起こさなかった場合、回復可能なコード違反でした。このエラー状態により停止を (たとえば、重大エラー) 引き起こしたら、より詳しい調査が必要となります。

伝送エラーに関しては、可能性が高い原因は不完全につけられていたケーブル、汚れた光カード、悪い送信 LED、または悪いレシーバです。

プロトコルエラーは CIP、ESCON ディレクター、またはメインフレームが ESCON プロトコルに違反したことを示します。これらのエラー (プロトコルエラー) のほとんどはそれについて確認するアプリケーション (Virtual Telecommunications Access Method [VTAM]または TCP/IP) なしで回復可能です。

解決し始めるべき適切な場所は [show extended channel statistics](#) か [show extended channel subchannel コマンド](#) であります。明確に 伝送エラーがあった場合、光カードをきれいにすること、そしてケーブルがきちんとつくことを確かめて下さい。いくつかのビットエラーは統計情報で報告されません; それらの統計情報が 0 でも、そうまだコード違反があったかもしれません。

すべてのケースの 99.999% では、LOGDATAハードウェアが原因です: ケーブル、ESCON ディレクター、またはコネクタ。いずれの場合も、エラーダンプを分析できるのはIBMだけで、分析しても問題を確実に解決できるとは限りません。デコードされるべきエラーダンプを送信することを考える前に時間の 99.999% がこれハードウェアが原因であることと与えられて、完全にハードウェア上の問題を除去することは非常に重要です。またこれらの問題のためのどの修正でも適用することを最新の利用可能な CIPマイクロコードを実行するとき、確認します。ハードウェア上の問題を除外すれば、Cisco テクニカル サポートは分析のための IBM にダンプを送信できます。

注完全なダンプするがキャプチャされるように再度すべての CIPルータは logging buffered 80000 が、少なくともあるはずであることを注意することは重要です。logging buffered が 4000 だけであるので syslog サーバアドレスが到達不能ならおよびログ 出力が失われれば、何が起こったか調べるために別の発生を待たなければなりません。これは望ましくありません。

注エラーの各発生は 0 から開始します:

```
%CIP2-6-MSG: slot5 %ADAPTER-6-LOGOUT: Port 0 logout data.Adapter microcode C50602D4
```

各発生は LOGSAME で終了します:

```
%CIP2-6-MSG: slot5 %ADAPTER-6-LOGSAME: 0D80 to 1000
```

注いくつかの顧客の環境では、複数のエラーメッセージが付いている LOGDATAメインフレームがデバイスレベル アクティビティに回答する発生する場合がありますより時間がかかるとき 500

ms。ESCONアーキテクチャでは、このタイムアウトの範囲は400～850msと定義されています。いくつかの LOGDATA の発生を回避するために、CIP21-21 またはより高くか CIP22-28 をまたは、Cisco バグ ID [CSCdj84218](#) ([登録ユーザのみ](#)) によってより高い使用して下さい。

関連情報

- [Cisco IOS ソフトウェア リリースに対応する CIP マイクロコードや CPA マイクロコードの判別方法とそのアップグレード方法](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)